

西日本支部 総会・研修会・調査研究発表会

愛媛県松山市で開催 2023年6月15日・16日

水道法で、厚生労働大臣の登録を受けた登録検査機関は、『安心でおいしい水』を確保するため、水質検査や水質管理等の活動を行っています。

一般社団法人全国給水衛生検査協会は、これらの登録検査機関の全国で唯一の組織です。

日進月歩の検査技術を熟知し、適切な判断力を持つ専門技術者の育成確保と検査の品質を確保するために活動しています。その一環として、西日本支部では年に1回、会員が一堂に会して、水道行政に関する最新の動向を知ることや研究発表、意見交換等を通じて研鑽を積み、検査機関の信頼性確保に繋げることを目的にこの会を開催しています。



理事長 仙波 匡彬



専務理事 荒井 浩司
環境部部長 山崎 久寛

「水質基準の最新動向と水質検査の信頼性確保について」

水質検査は、水道水の安全性を確認する非常に重要な役割を担っていますが、告示法に基づかない検査、過度な価格競争、人材不足などの理由により信頼性が疑われる事案も発生しており、登録検査機関にはこれまで以上に検査に対する信頼性が求められています。

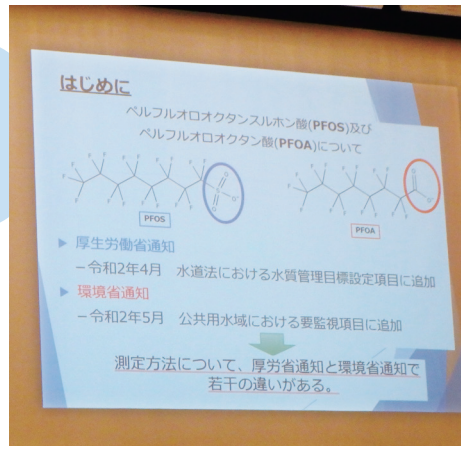
検査機関を取り巻く環境は年々厳しくなっており、当協会も例外ではなく、今後はより一層信頼性の確保に努め、お客様の期待に応えられる高い精度と技術力を持った検査機関を目指すことが重要だと感じました。

厚生労働省
医薬・生活衛生局
関塚氏の特別講演を受けて

「PFOS及びPFOA分析における使用器具等からの影響について」

PFOS及びPFOAは、近年話題になっている有機フッ素化合物の一種で、その基準値は極めて低い濃度で定められているため、分析には細心の注意が必要です。特に、試料を保存する容器や前処理に使用する器具等からの影響が危惧されています。

本研究では、採水から分析までの一連の作業の中で、使用器具等から受ける分析値への影響について調べ、その結果を発表しました。



研究の結果、影響はありませんでしたが、細心の注意が必要です。



環境部 木下 主任



発表者

会議はコロナ禍の影響で3年ぶりの開催。対面での検査機関の方と情報交換が出来る貴重な場であり、大変有意義な時間となりました。

理事・参与 東 公弘



信頼性・高精度・技術力



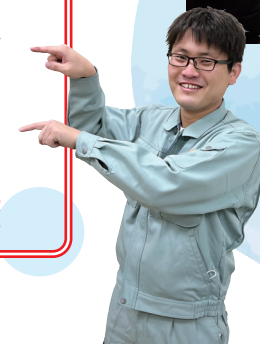
2023年
5月

サーベイランス審査 認定2年後の中間審査を終えました

「認証取得時の指摘事項等については概ね適切に是正され、水道GLPシステムは順調に運用されている」との評価ですが、さらに改善を要する点もあり、2年後の更新審査に向け検討を進めています。



環境部 菊池 主任



【環境部より】

新規事業として、石綿(アスベスト)の事前調査と土壌汚染対策法に基づく指定調査機関登録を進めております。

両事業とも専門性が高く、実施のためのハードルは非常に高いですが、令和6年度以降、検査を受注できるよう進めていますのでぜひお問合せください。

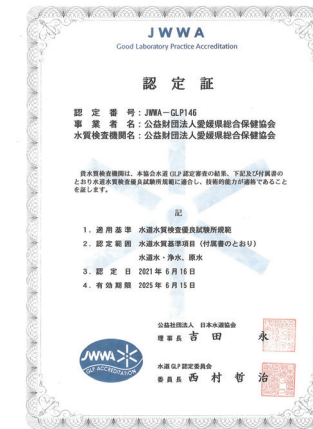
水道GLP認定 Good Laboratory Practice

愛媛県では2団体のみ
(四国内は6団体 2023.8.25現在)



JWWA-GLP146

適用基準	水道水質検査優良試験所規範
認定範囲	水道水質基準項目 水道水・浄水、原水
認定日	2021年6月16日
認定番号	JWWA-GLP146



確かな技術で、精度と信頼性の高さを証明

- ① 県内外の他機関との差別化
- ② 世情の変化に対応できるよう、取得しています。

2021年

水道GLPは、(公社)日本水道協会が定めた品質保証の基準で、水質検査結果の信頼性を確保する規範です。